

## 第36回 かたの環境を考える委員会

### ■概要

- ・日時：2012年3月19日（月）18:30～21:30
- ・場所：交野市役所 別館3階中会議室
- ・テーマ：計画書案を市長に提出、作業チームに分かれて準備作業、ふりかえりほか

### ■進行・内容

#### ★18:30 中田市長に想いをつなぐセレモニー

委員から市長へ完成した交野市環境基本計画案を手渡し、全員で記念撮影。

その後、市長より「皆さんの思いのこもったこの計画をしっかり受け止め、口先だけでなく本当の意味で実行していきたい。環境もまちづくりも、一人ひとりが毎日の暮らしの中で実践を積み上げていくことが大切。行政はお金だけかけていればいいというものではなく、皆で汗をかき、それぞれの立場で楽しみながら進めていきたい。」との挨拶があった。

#### ★18:43 全体ガイダンスと本日の議題確認、ロードマップの確認

★18:47 優先共同プロジェクトチーム（旧名：先行プロジェクトチーム）、組織づくりチーム、計画書作成・PRチームに分かれて、打合せ

#### ★19:32 全体共有

○計画書作成・PRチーム：概要版はできてきたのでPRのアイデア出しを行なった。

○優先共同プロジェクトチーム：担い手作りのための環境学習のメニュー洗い出しをおこなった。

○組織づくりチーム：平成24年度は、環境基本計画推進組織設立準備会をつくり、平成25年度の計画実行に際しての予算組みを少なくとも11月までにおこなうために、逆算して進め方を考えた。4月からの準備会で何をやるか決めるために、各グループから2名出てもらいたい。準備会は月に2回は集まりたい。

#### ★19:42 4つのグループに分かれて、推進組織設立準備会幹事の選出

#### ★20:07 来年度の推進体制について

全体で、第1回推進組織設立準備会の日時を調整し、4月26日（木）18:30～に、また幹事による事前打合せの日程は、4月23日（月）13:30～に決定した。

#### ★20:20 休憩

#### ★21:00 ふりかえり

ひとり一言ずつ話し、わかちあいをおこなった。内容は以下の通り。

- ・色々な事があり、よく終わったなというのが実感だ。



・常に前向きな皆さんのやる気に圧倒され続けた。この情熱を持って今後もやっていってほしいと思う。(コーディネータ)

・市民協働で何かやりたいと思い市役所職員になったが、新人になってすぐにこういう場に恵まれ飛びついた。交野の環境について学び、市民の皆さんの環境に対する思いも実感でき、これから行政職員としてやっていく上でも、この2年間は有意義だった。これからは実行に向けて頑張りたい。

・昨年の天野川源流ツアーから事業者として参加している。生駒市民なので天野川を汚さないようにしていきたい。また協力できることがあればやっていきたい。

・事業者の立場で参加してきたが、他市の委員会に参加したのと比べてとても話しやすく、貴重な経験となった。今後ともよろしくをお願いします。

・この環境基本計画はスタートでありゴールである。

・まだ3回目だが、こういう計画を立てていること自体を全く知らなかった。これから勉強させていただきたいと思っている。他のボランティアで小学生と毎週話しているが、子ども達の目は輝いている。そんな若い世代をグループの中へ引き込んで、実行していけるよう協力していきたい。

・今後も住みたいと思えるすばらしい環境が続いていってほしいと思う。

・途中はどうなることかと思ったが、よかった。これからは前向きに一生懸命取り組んでいくようにしていきたいと思う。

・自分の歳で一生懸命になることができたのは、意外だった。あちこちで文句を言ったりもしたが、大変お世話になりました。

・仕事を終えて周りを見回したら、交野っていいなと思うようになった。心強い仲間とともにやっていきたいと思う。

・中間発表会での皆さんの楽しそうな姿が印象的だった。これからもがんばってきたい。

・交野に住んで17年、何かできないかと思っていたところで中間発表会に出会った。何ができるかわからないが、できる範囲でがんばってきたい。

・来なくなった方々について、振り返って原因など考えてみる必要があると思う。

・生まれ故郷のようなこの地の環境をいつまでも保ちたいとの思いで、第二京阪道路建設計画以来24〜25年、環境に取り組んできたが、この思いを大切に皆さんと楽しく活動していきたい。

・諸先輩方に触発され、がんばってきた。まだこれからもがんばってきたい。

・中間発表会から参加している。交通が不便なことが気になっていたところ、できることから広めていくという考え方を聞き、頭でっかちでなく実行していきたいと思った。

・1年半、長いのか短いかわからないが、これからは推進組織として、先は長い。一步一步皆さんと一緒にやっていきたいと思う。



- ・中間発表会の進行役ではえらそうに指示してすみません。これからもえらそうに言うかもしれませんが、よろしくをお願いします。
- ・中間発表会で寸劇に参加し、そのころからやっと目指すものがわかってきた。これから環境に関心のない人を引っ張ってくるのが私の仕事と思う。
- ・知識のない自分がついていけるか不安だったが、皆さんに守られたり勉強させていただいたりしてこの1年半やってこられたことに深く感謝している。一人でも多く一緒にやれる仲間を募り、素晴らしい交野を作っていきたいと思う。
- ・毎回皆さんにパワーをいただきながらここまでやってこることができ、安堵している。
- ・「遙々此処まで来たもんだ」という気持ちだ。環境市民、市役所の方々に感謝したい。これからは勝負だと思う。
- ・昭和34年の原発建設反対を始め、交野には多くの活動をしてきた市民がいる。私自身10年ほど前から勉強し始め、「学びの力」の有り難さを実感した。講座を通してそれを伝えて行きたいし、また「持続する志」「過去と他人は変えられないが自分と未来は変えられる」という言葉を胸に、私も変わっていききたいと思う。
- ・色々なことを経験し、本当に楽しい1年半だった。休まずに出るという事をモットーにしており、皆さんに助けていただいて、これからもがんばっていききたい。
- ・ここにおられる方々、また1回でもこの委員会に参加していただいた方々にお礼申し上げます。これからも皆様と一緒に交野を良い環境にしていききたいと思うので、これからもよろしくお願いします。
- ・本当にありがとうございました。次年度はこういう風に出来上がってきたパートナーシップをより発展させ、一緒にがんばっていただきたいと思う。
- ・グループワークでは、途中までは私がリードしていたが、ある時を境に委員さんに任せていくと、どんどん新たな展開が生まれた。みなさんで一つのことを成し遂げられたということは、これから大きな糧となっていくことと思う。これからは大きく輪を広げ、実行に向けて頑張ってもらいたい。（コーディネータ）
- ・皆さんおめでとうございませう。皆さんの思いが100%ではないにしても、市の計画に取り入れられたということ、仲間を広げられたこと、今までにないような経験をする機会が得られたことに対し、少しでもお手伝いできたことをうれしく思います。これからは皆さんの力でがんばっていきましょう。（コーディネータ）
- ・（ツイッターによるメッセージ）今日は残念ながら参加できなかったが、これからもよろしくおねがいます。
- ・去年6月からの参加で、そのころは難しい感じで心配だったが、中間発表会以降、皆さんがみるみる力をつけてこられたことに感動し、もう引っ張らなくていい、後ろからついていだけでいいという感じだった。こういう計画づくりに参加したのは初めてだが、計画ができた時点で、動かす人がこんなに集まっている計画は他にないのではないかと思います。これからは本番になるが、皆さんの力で、ぜひ夢を実現させてほしい。（コーディネータ）

・昨年6月から参加し、最初は大変なこともあったが、初めての経験を沢山させていただいた。このように計画書ができ、できた段階でそれを動かしていく力がこんなに結集しているというのは本当に素晴らしいことだと思う。もし今後どこかの地域で同じような機会があれば、ぜひ交野での話を伝え、市民の力を行政と共に発揮できるよう働きかけていきたいと思う。(コーディネータ)

・環境市民に拍手、そして市の職員に拍手。市民と市長と市の職員と一緒にやれたことはすばらしかった。

★21:33 事務連絡

★21:35 終了



## ■作業チーム議論の詳細

### 【優先共同プロジェクトチーム】

#### 1. 本日のテーマ

「めざせ！かたのエコ達人」の具体的な学習テーマの洗い出し

#### 2. 目的の確認

- 1) 環境に関心のある人を養成する
- 2) プロジェクトの担い手を育てる

#### 3. 担い手のイメージ

- 1) すでに活動をしている人 (プロ的な人)
- 2) 全く環境に関心がない人
- 3) 若い人 (今後のプロジェクトの担い手になる人)

#### 4. 学習テーマ案

- ・ 交野の山歩き
- ・ 各種省エネ (環境家計簿づくりプロジェクトとの連動)
- ・ 農と緑と触れ合い
- ・ 再生エネルギー問題
- ・ ごみ問題 (生ごみ、容器包装リサイクル)
- ・ 自転車マナー
- ・ エコドライブ講習会
- ・ 涼しい場探し
- ・ インタープリターの養成

#### 5. 講師案

- ・ 一期生が次に講師となり、二期生を育てる
- ・ 外部から呼ぶ
- ・ 交野市内で活動している人達、団体



## 【組織づくりチーム】

### 1. 本日のテーマ

- ・環境基本計画を推進するための準備会の幹事について

### 2. 議論内容 4月以降の動き方について（フリートーク）

前回の議論のふりかえりと今回話し合いたいことの提起があり、それにそってみんなで議論した。

- ・本来、ここは環境基本計画推進組織がどうあるべきかについて話し合うチーム。しかし、今日が最後の委員会なので、組織のあり方よりも4月以降どのように動くか、準備会を立ち上げることになると思うが、それをどのようにするかを話し合いたい。

- ・前回は、このチームのメンバーは各グループから出てきているので、このチームの人が準備会の呼びかけ人や幹事となつてはどうかという話の流れだった。ところが他のチームでの話を聞いてみると、各チームに均等に人数が割り振られたから、たまたまそのチームに所属しているだけという人もいて、今のメンバーがそのまま移行するのはよくないのではと思われた。そこで、再度、準備会の幹事として2名程度、各グループから名乗りを上げていただきたい。

- ・各2名×4グループで8名の準備会幹事は、推進組織ができるまでの役割という位置づけで考えている。幹事は、全体会議の1週間ぐらい前に集まって、事務局（市）と相談して全体会議の内容を決める役割。

- ・市の都合で4月は最終週に全体会議を行いたい。5月は連休があるから会議は1回、6月以降は月2回ずつくらい、今と同じように決まった曜日（第〇何曜日）が決められるとよい。

（委員）グループから均等にチームに入るように言われてはいなかったが。

（市）あなたがまだ来られていなかった最初のときにそういう話になった。

（委員）市民の皆さんに、活動に加わるような呼びかけも必要ではないか。

（市）それも必要だが、その前に活動の核となる組織をつくる必要がある。

（委員）計画はいつから始まるのか。組織はいつごろ立ち上げるつもりなのか。予算との関係で、立ち上げの時期が決まるのではないか。

（市）10年計画で、今年の4月からスタートする。11月ごろに来年度の予算を要求するので、10月までには組織が立ち上がって、次の年度の事業の大枠が見えてきて、それに基づいて予算要求できるように持っていけるとよい。

（委員）推進組織を立ち上げるまでのスケジュールは準備会でまず決定し、そこに向かって逆算して、話を進めていけばいいのでは。

（委員）たとえば、4月から6月で組織の形づくり、7月から9月で事業計画づくりをしてはどうか。

（委員）会議はせいぜい1カ月に2回が限度だろう。7月や8月はみんな動きにくいのでは。

（市）いつ立ち上げるか決めずにずるずる考えるよりも目標があるといいかもしれない。

（委員）来年度の予算はどうなっているのか。

（市）環境学習や仲間づくり、「かたのエコ達人」の予算はとってある。今年度の活動は、それ

と組織づくりでいっぱいになるのでは。組織の形ができれば、予算がなくてもできるものから始めていけばよい。

(委員) 4グループから2名ずつの幹事が出たとしても、自分のグループのプロジェクトを優先して進めたいからうまくいかないのではないかな。

(市) どのプロジェクトを先にするという事ではない。環境基本計画を進めるために必要な組織をみんなでまずつくってしまおうということ。

(委員) 「準備会」では何の組織なのかわからない。

(委員) 「環境基本計画推進準備会」「環境基本計画推進組織準備会」、通称は「環境準備会」「推進組織準備会」「GoGo 準備会」「カンキケイ準備会」……

→正式には「環境基本計画推進組織設立準備会」、通称はおいおい決まっていこう。

## 【計画書作成・PR チーム】

### 1. 概要版について

表紙のおさそい文を裏側にも入れる予定であったが、レイアウト上難しくなった。

→裏側に「おさそい文」は入れない。

### 2. 4月以降、どのようなPRをしていくか。

4月以降に設立される推進組織準備会に向けたアイデアを出しあった。

- ・ 計画書、概要版をPDF化し、早い段階でHPに掲載する。
- ・ 冊子は数に限りがあるので、単価が高いため、CDに焼いて配布する。
- ・ 市の広報誌に2~3ヶ月連続して掲載する。
- ・ 駅前で配布。
- ・ 回覧板で町内に配布・周知する。
- ・ 町内会の掲示板に貼ってもらう。
- ・ イベントがあるたびに出展して、お知らせする。
- ・ (推進組織ができてから) 生駒で見た、プロジェクト紹介チラシ(A4三つ折り)のようなものを作成する。
- ・ 計画書を公民館に置いてもらう。
- ・ QRコード付きのチラシを作成する。
- ・ 病院や郵便局など、待ち時間がある施設に置いてもらい閲覧できるようにする。  
(学校だよりは各病院や金融機関に置いてある。)
- ・ 子ども版を作成し、学校で配布してもらう。
- ・ 織姫ねつとに載せる。
- ・ 市内の環境グループに声をかけ、HPにリンクさせてもらう。

以上